

米づくり情報（NO. 3）

令和7年7月17日

伊万里・西松浦地区農業技術者連絡会作物部会

1 気象概況（アメダス観測地：伊万里）

月	半旬	平均気温		最高気温		最低気温		降水量		日照時間	
		平年値 ℃	本年値 ℃	平年値 ℃	本年値 ℃	平年値 ℃	本年値 ℃	平年値 mm	本年値 mm	平年値 時間	本年値 時間
6	3	21.9	23.3	26.5	26.0	18.2	20.4	48.2	118.5	22.1	1.1
	4	22.4	26.3	26.8	31.5	19.0	21.3	67.9	11.5	19.6	29.3
	5	23.1	25.4	27.1	27.6	20.0	23.2	85.9	171.5	16.0	0.2
	6	24.0	26.4	27.7	31.6	21.1	22.1	95.6	0.0	14.1	50.3
7	1	24.8	28.6	28.4	34.2	22.0	24.4	97.6	0.0	15.6	58.8
	2	25.5	28.4	29.2	33.5	22.6	25.0	84.3	18.5	19.2	41.7

【6月5半旬～7月1半旬の気象概況】

- ・気温：全期間を通じて平年より高く、特に7月は猛暑傾向。
- ・降水量：6月第3・5半旬に豪雨があったが、それ以外は少ない。
- ・日照時間：6月第5半旬を除き、全体的に平年より多く、晴天が多かった。

2 生育状況（7月14日）

項目 品種(設置場所)	移植 日	年次	草丈 (cm)	莖数 (本/㎡)	葉齢 (L)	葉色 SPAD	概要
夢しずく 東山代町脇野	5/30	本年値 平年値 平年比(差)	72.0 80.7 89	547 380 144	11.7 11.3 (+0.4)	39.0 41.4 (-2.8)	・草丈は、平年より低い ・莖数は、平年より多い ・葉齢はやや進んでいる。 ・葉色は平年より淡い。
ひなたまる 大坪町古賀	6/24	本年値	37.7	376	8.2	43.3	※今年度調査開始のため、 平年値なし

（耕種概要）

品 種	年 次	苗質		移植日	栽植密度 (株/㎡)	備考
		苗丈	葉令			
夢しずく	本年値	11.9	2.3	6/1	18.2	前作 水稻
	平年値	14.9	2.5	6/1	18.2	前作 水稻
ひなたまる	本年値	20.8	2.1	6/24	18.5	前作 大麦

※平年値は、H27～R6の平均値から最上位と最下位の数値を除いた平均値。

3 参考（平坦部 佐賀県農業試験研究センター）（7月16日）

本年産水稻の生育状況（7月16日）

移植日	項目 品種	年次	草丈 cm	茎数 本／㎡	葉 齢 L	葉色 SPAD	概 況 (平年または前年との比較)
6月18日	夢しずく	本 年	50.4	331	9.2	41.0	【気象】 7月9日～15日まで ◆平均気温…2.4℃高い ◆日照時間…長い (平年比 140%) ◆降水量…少ない (平年比 12%) 【生育】 ◆草丈 「ヒノヒカリ」はやや高く、その他の品種は高い。 ◆茎数 「夢しずく」でやや多く、その他の品種は多い。 ◆葉齢 「夢しずく」、「ひなたまる」、「ヒヨクモチ」はやや進んでいる、「ヒノヒカリ」、「さがびより」は進んでいる。 ◆葉色(SPAD 値) 「さがびより」、「ヒヨクモチ」はやや濃い、「夢しずく」、「ヒノヒカリ」、「ひなたまる」は濃い。
		平 年	45.0	318	9.0	31.1	
		平年比(差)	112	104	(+0.2)	(+9.9)	
	ヒノヒカリ	本 年	40.4	464	9.7	42.6	
		平 年	38.9	431	9.1	40.3	
		平年比(差)	104	108	(+0.6)	(+2.3)	
ひなたまる	本 年	50.3	451	10.0	45.9		
	前 年	44.9	273	9.6	42.8		
	前年比(差)	112	165	(+0.4)	(+3.1)		
6月20日	さがびより	本 年	41.7	420	9.4	41.7	
		平 年	38.8	315	8.9	40.9	
		平年比(差)	107	133	(+0.5)	(+0.8)	
	ヒヨクモチ	本 年	38.3	742	9.8	43.2	
		平 年	35.9	560	9.5	41.6	
		平年比(差)	107	133	(+0.3)	(+1.6)	
留意点	○必要な茎数が確保された品種は、中干しを実施する。「夢しずく」は7月下旬頃に幼穂形成期となるため、それまでに中干しを終了する。 ○生育量が例年に至っていない、茎数が少ない圃場は浅水・間断灌水管理により、できるだけ茎数の確保に努める。その際の中干しは時期を遅らせ、やや軽めにとどめる。 ○トビイロウンカ及びコブノメイガの発生に注意し、適期防除に備える。						

注 1)「夢しずく」、「ひなたまる」、「ヒノヒカリ」は、6月18日移植の稚苗(播種期 5/26, 播種量 湿粳 180g/箱)

「さがびより」、「ヒヨクモチ」は、6月20日移植の稚苗(播種期 5/27 播種量 湿粳 180g/箱)

2)栽植密度:「夢しずく」は、条間 30 cm × 株間 17 cm, 19.6 株/m²(65 株/坪)

「ひなたまる」は、条間 30 cm × 株間 18 cm, 18.5 株/m²(60 株/坪)

「さがびより」は、条間 30 cm × 株間 20 cm, 16.7 株/m²(55 株/坪)

「ヒノヒカリ」「ヒヨクモチ」は、条間 30 cm × 株間 15 cm, 22.2 株/m²(73 株/坪)

3)栽培管理:施肥法は県基準に準じ、防除他はセンターの慣行による。

4)平年値は、収量について過去の全試験年次の標準偏差(σ)を算出し、±1σの外側にある年次を除く年次を対象にした、各項目の単純平均値を7月16日に換算した値。

5)「ひなたまる」については R6 年産から試験開始のため、前年との比較。

6)概況欄の平年値との比較については、以下のように定義している。

低い(少ない): 94 以下、やや低い(やや少ない): 95~98、平年並み: 99~101、

やや高い(やや多い): 102~105、高い(多い): 106 以上。

今後の管理

1) 山間早植え水稻（5月上中旬移植）

- ・幼穂形成始期（幼穂長 1 ミリ）を迎えた圃場では、次の表を参考に穂肥診断を実施し、適切に穂肥を施用する。

《夢しすく 穂肥診断基準》

幼穂形成始期の 草丈(cm)	葉 色		施 用 時 期		穂肥施用量 (kg／10a)	
	群 落	SPAD-502	出穂前日数	幼 穂 長	窒素成分量	BB602
	3.0以下	34以下	22～20日前	1 mm	3.0	18 kg
73cm以下	3.0～3.5	38以下	20～18日前	2 mm	3.0	18 kg
	3.5～3.8	38～39	15～14日前	10～15mm	1.5～2.0	10～12kg
	3.8以上	40以上	晩限は止葉抽出終了まで		1.0以下	6 kg
73～79cm	3.0～3.5	34以下	20～18日前	2 mm	1.5～2.0	10～12kg
	3.5～3.8	38～39	15～14日前	10～15mm	1.0	6 kg
	3.8以上	40以上	施 用 し な い			
80cm以上	原 則 と し て 施 用 し な い					

【穂肥診断の方法】

- ①幼穂形成始期頃の草丈を測る。
- ②葉色（群落・SPAD 値）を測る。
- ③上記①②の測定値を診断指標に当てはめ、施用量を確認する。
- ④施用量を確認したら、基準の施用時期に穂肥を施用できるよう準備する。
- ⑤穂肥は、湛水状態で施用し最低 4 日間は止水し、落水しない

2) 普通期水稻「夢しすく」

- ・有効茎数（1 株あたり 20 本程度）が確保できた圃場から、順次中干しへ移行する。
- ・藻類や表層剥離が多く見られる圃場では、一時的に落水し（黒乾状態を保つ）、藻類等を土壌表面に吸着させた後、再度入水することで対処する。
- ・ガス対策として、移植後 15 日目および 25 日目頃に夜間落水（夜干し）などを実施し、根の活力を高める。ただし、用水の確保が困難な地域では落水を避け、湛水状態を維持する。
- ・中干しはおおむね 1 週間程度とし、土壌表面に軽い亀裂が入り、足跡がわずかにつく程度を目安とする。
- ・中干し後は間断灌水に移行する。なお、中干しを強めに行った圃場（手が入るほどの亀裂がある場合）では、一度通水して土壌をならした後、間断灌水に移行する。・除草剤散布直後大雨によりオーバーフローしたほ場では、ヒエ、コナギやホタルイ等の雑草が発生する恐れがある。発生が多い場所では、中後期除草剤等による防除を実施する。



参考）茎数の目安

3) 普通期水稻「ひなたまる」等

- ・分げつ期を迎えている。除草剤処理後 1 週間経過した圃場は浅水管理に移行し、茎数確保に努める。

※除草剤は、散布後 3 日経過すれば有効成分が土壤に吸着されるが、除草剤の処理層が破壊されないよう湛水状態（水尻を止水して湛水状態を保ち自然落水によって田面が見えても 1 週間は入水しない。）を保つようにする。ただし、均平が取れず田面が露出した部分がある場合は、1 週間後の雑草発生状態を確認し、早めに中後期剤等での防除を行う。



田面が露出し、ヒエが生えてきた圃場

4) 共通

(スクリミンゴガイ)

・スクミリンゴガイの被害が見られる圃場では、浅水管理にすると共に、必要に応じスクミノン、スクミンバイト 3 などで薬剤防除を実施する。



スクリミンゴガイの食害

(いもち病)

BLASTAM情報第4号(葉いもち感染好適条件の出現状況)(2025年7月16日更新)

月	日	佐賀					福岡			長崎	
		唐津	伊万里	佐賀	嬉野	白石	前原	太宰府	久留米	松浦	佐世保
6月	1日	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	2日	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	3日	1	—	—	4	4	1	●	●	4	—
	4日	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	5日	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	6日	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	7日	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	8日	—	—	—	—	—	—	—	—	—	4
	9日	4	●	4	●	●	—	—	●	●	●
	10日	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	11日	4	—	—	—	—	●	—	—	●	—
	12日	●	●	●	●	●	4	●	●	4	●
	13日	—	—	—	—	—	—	—	—	—	●
	14日	—	—	3	—	—	3	—	—	—	—
	15日	●	—	—	—	—	—	●	—	—	—
	16日	—	—	—	—	—	—	3	—	—	—
	17日	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	18日	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	19日	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	20日	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	21日	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	22日	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	23日	—	2	2	—	—	2	2	—	2	—
	24日	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	25日	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	26日	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	27日	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	28日	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	29日	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	30日	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
7月	1日	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	2日	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	3日	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	4日	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	5日	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	6日	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	7日	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	8日	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	9日	—	3	—	—	—	—	—	—	—	—
	10日	—	3	—	2	—	—	—	3	3	—
	11日	—	—	—	—	3	—	—	—	—	—
	12日	3	—	—	—	—	—	3	—	—	3
	13日	—	3	—	—	—	3	—	3	3	—
	14日	—	—	—	—	—	—	3	3	—	—
	15日	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	16日	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	17日	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	18日	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

- 1：準好適条件（湿潤時間は10時間以上であるが、前5日間の平均気温が20℃未満）
 2：準好適条件（湿潤時間は10時間以上であるが、前5日間の平均気温が25℃以上）
 3：準好適条件（湿潤時間は10時間以上であるが、湿潤期間中の平均気温が15～25℃の範囲外）
 4：準好適条件（湿潤時間が湿潤期間中の平均気温ごとに必要な時間数より短い）
 ●：好適条件（湿潤時間が長く気温も適当で、葉いもちの感染好適条件が出現した）
 —：好適条件の出現なし
 ?：判定不能

- ・ 7月9日～13日で準感染好適条件が出現している。
- ・ 今後は圃場の発生状況に注意し、進展型病斑が確認された圃場では、「オリブライト 250G」等で速やかに防除を行う。
- ・ 圃場内に放置されている補植苗では「いもち病」や「ごま葉枯病」の発生が懸念されるため、補植後はすみやかに除去する。

(ウンカ類)

表1 イネウンカ類・コブノメイガのトラップ捕獲状況(2025年)

月	日	トビイロウンカ				セジロウンカ				コブノメイガ					
		佐賀県		長崎県		佐賀県		長崎県		佐賀県					長崎県
		佐賀市	嬉野市	諫早市	諫早市	佐賀市	嬉野市	諫早市	諫早市	佐賀市	神埼市	伊万里市	白石町	武雄市	諫早市
		ネット トラップ	ライト トラップ	ライト トラップ	ネット トラップ	ネット トラップ	ライト トラップ	ライト トラップ	ネット トラップ	フェロモン トラップ	粘着トラップ (20W蛍光灯)	フェロモン トラップ	フェロモン トラップ	粘着トラップ (20W蛍光灯)	フェロモン トラップ
6月	1日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			0	0
	2日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			0	0
	3日	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0			0	0
	4日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			0	0
	5日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			0	0
	6日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			0	0
	7日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			0	0
	8日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			0	0
	9日	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0			0	0
	10日	0	0	0	0	0	2	4	0	0	0			0	1
	11日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			0	0
	12日	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0			0	0
	13日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			0	0
	14日	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0			0	3
	15日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			0	0
	16日	0	2	0	0	3	9	0	0	0	0			1	7
	17日	0	0	0	0	0	4	0	0	0	0			1	1
	18日	0	0	0	0	3	4	0	4	0	0			0	0
	19日	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0			6	0
	20日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1			1	0
	21日	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0			0	0
	22日	0	1	0	0	0	26	0	1	0	0			0	0
	23日	0	2	0	0	2	126	2	0	0	0			0	0
	24日	0	0	0	0	2	139	0	0	0	0			0	2
	25日	0	0	0	0	2	12	0	0	0	0			1	0
	26日	0	0	0	0	1	8	0	0	0	0			0	0
	27日	0	0	0	0	0	7	0	0	0	0			0	0
	28日	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0			1	0
	29日	0				0				0	0				
	30日	0				0				0	0				

注1)ウンカ類:佐賀市のネットトラップは、農業試験研究センターで調査(回収日で集計)。嬉野ライトトラップ(予察灯)は農業技術防除センターで調査。

6月29～30日の嬉野ライトトラップは、装置の不具合により欠測。

注2)コブノメイガ:神埼市、白石町、伊万里市、武雄市は防除員が調査。佐賀市のフェロモントラップは農業試験研究センターで調査。

※長崎県のデータは、長崎県農林技術開発センター 環境研究部門 病害虫発生予察室提供。

- ・セジロウンカとトビイロウンカは6月16日～23日に飛来が確認されている。
- ・今後の飛来状況や圃場条件(移植時期や品種、圃場の場所等)によってウンカ類の発生量は異なるため、注意深く圃場を観察し、発生が多くみられる場合は速やかに防除を行う。

トビイロウンカ防除適期

1回目 8/6～8/12
2回目 9/5～9/11

コブノメイガ防除適期

1回目 8/5～8/14
2回目 9/8～9/18



図1 トビイロウンカ各世代の発生予測 (第1版、2025年7月2日作成)



図2 コブノメイガ各世代の発生予測 (第1版、2025年7月2日作成)

「ほ場の調査」と「本田防除」のポイント

防除にあたっては、トビイロウンカはイネの株元に生息しているので、薬剤が株元まで十分かかるよう、ていねいに散布する。

各時期別のポイントは以下のとおり（普通期水稻の場合）。

7月下旬～8月下旬頃（防除適期の把握と基幹防除）

○調査：幼虫などの発生状況を調査する。

●防除：第1または2世代幼虫ふ化揃い期に防除を行う。



8月下旬～9月中旬頃（臨機防除の必要性の判断）

○調査：生き残ったウンカがいないか調べる。なお、調査日がウンカの卵期間（約7～8日間）と重なった場合、発生を見逃すことになるので、複数回調査する。

〔例えば調査時に、第2世代成虫があちこちに生き残っているのであれば、その10～14日後に第3世代幼虫が多数ふ化してくると予測する。〕



9月上旬～9月下旬頃（臨機防除）

○確認調査：あらかじめ予測された時期に、第3世代幼虫の発生状況を調べる。

●防除：幼虫が多数ふ化しているのであれば、早急に臨機防除を行う。対応が遅れると、坪枯れの被害が発生する。

令和7年産水稻生育期間気象グラフ（アメダス：伊万里）

西松浦農業振興センター

